

サブ・クラスター研究課題  
「保育サービス価格の女性の就業・出生  
行動に対する影響」

山本陽子・焼田党

# 研究の目的

- 本研究では、保育サービスの量的な拡充だけではなく、保育サービスの価格に注目
  - ⇒ 女性の就業や出生行動への影響を分析
- 女性の活躍推進と出生率上昇に対して有効な保育サービス施策の在り方を検討
- 名古屋市の保育サービス施策に対する提言

# 研究方法

- 少子化に関する研究会の組織
  - 関連分野の研究者
  - 名古屋市総務局男女平等参画推進室の協力を得る
- 名古屋市の子育て中の女性に対するアンケート調査

# 活動実績(1)

- 名古屋市立大学少子化問題研究会
  - 第1回 日時:2015年7月18日(土) 14時～
    - 場所:3号館1階セミナー室
    - 報告者:山本(森田) 陽子(名古屋市立大学経済学研究科)
    - 報告タイトル:就学児童がいる女性の就労と学童保育(坂本和靖氏(群馬大学)との共著)
  - 第2回 日時:2015年12月22日(火)16時30分～
    - 場所:3号館1階セミナー室
    - 報告者:水落 正明氏(南山大学総合政策学部)
    - 報告タイトル:都市と地方における女性の就業の違いについて

# 活動実績(2)

- 開学65周年記念式典シンポジウム報告
  - 日時：2015年10月31日(土)
  - 「少子化はストップできる？」  
– 市町村地域特性と少子化の動向 –  
(愛知県の市町村データによる分析)

# 活動実績(3)

- 母親の働き方と子育てに関する名古屋市調査  
(Web調査)
  - 名古屋市における保育サービス価格が就業行動や出生行動に与える影響を分析する
  - 対象：名古屋市在住有配偶有子女女性約500名  
(20～54歳)
  - 実施期間：2016年3月1日(火)～3月6日(日)